

大学コンソーシアム熊本中期計画（2019～2023年度） 自己点検評価表（令和2年度分）

目的	事業	事業内容	熊本の高等教育機関の課題	課題解決に向けての達成目標	令和2年度活動指標	実績		活動状況評価		事業計画達成状況	R2年度の達成状況評価	評価理由	今後の対策等（令和3年度事業計画）	全体評価
						各部会	企画・運営委	各部会	企画・運営委					
1. 高等教育機関の教育・研究の充実のための基盤整備	進学ガイダンスセミナー事業	コンソーシアム加盟教育機関による模擬授業の開設と、各大学入試担当者による進学相談コーナーを開設による高校生の進学に対する疑問や質問を解消する取組みを実施する。保護者・高校教員向け講演会も実施し、多面的な進学支援を行う。	県内進学者の増加と県外からの進学者の導入（課題アイウエ）	県内進学率50%以上 県外からの進学者2,500人以上	模擬授業数26講座 進学ガイダンスセミナー参加者数1,150人	無し	達成0 未達2	7/5に熊本学園大学にて開催を予定したが、コロナ禍の中で中止。九州内高校へ中止の連絡を行うと同時に、各大学の入試情報一覧をHPに掲載	C	C	達成0 未達2	C	例年通り進学ガイダンスセミナーを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止した。しかしながら、各大学の入試情報一覧をコンソのHPに掲載するなど、最低限の活動は行ったためC評価とした。	令和2年度はコロナ感染症の影響で中止となった。現在も感染症の終息は見えないが、各大学がオンラインでの「模擬授業・実習体験」、「進学相談」の実施が可能なことから、令和3年度の開催を計画した。なお、対面・オンライン併用での開催が可能な状況になった場合は入場者を制限し、3密対策を行ったうえでの開催も検討する。
2. 地域の行政や産業界と連携	インターンシップ連携事業	次代を担う熊本県内の高等教育機関の学生が、熊本県内の企業や団体等の職場において就業体験を実施することにより、地域経済や企業活動への理解を深め、就職意識の醸成・向上することを目的として実習プログラムの内容はオリエンテーションや経営陣との懇談、配属部署内での職種体験、実習の講評や実習生の発表を行う。	産学官連携の機会の増加（課題カクケ）	産学官連携に基づく取組みの活性化 取組み件数4件	受け入れ先企業・団体／派遣実習生数 夏季105社・春季55社 夏季250人・春季50人	無し	達成0 未達2	夏季コロナ禍により中止。県内企業ガイドブック（インターンシップ受入状況掲載）を作成し、企業・各大学に配布 春季2/12～3/19 オンラインによる実施を計画したが、	C	C	達成0 未達4	D	本テーマに関する3件の事業において4つの活動指標が設けられていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により全ての項目が未達成となった。キャンパスパレアのみ3講座のみの開催にとどまったため、D評価とした。	新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、リモートやホームページの活用等、状況に対応した新しいインターンシップを実施したい。実習先については業界バランスを考慮した受入企業・団体の開拓、多業種にわたるインターンシップを実施したい。併せて、マッチング成立件数を上げ、低学年（特に2年生）の参加を増やすためにも、参加大学と連携して、インターンシップ連携事業の周知に努めたい。 なお、成果発表会については大学施設の活用他、オンラインでの実施も検討する。
	キャンパスパレア	熊本県生涯学習推進センターが主催する、一般市民向け開講の、くまもと県民カレッジリレー講座「キャンパスパレア」において、加盟機関から教員を派遣している。所属機関の特色を出し、一般市民の興味を持つテーマの講座を開設する。		キャンパスパレアの講座数50%以上増	教育のあり方に関する協議の実施 年度内に3回実施 教育機関の連携事業5件以上	3講座実施 参加者数 49人 他に1講座動画配信	無し	達成0 未達1	14講座を計画したが3回開催後、コロナ禍により4回目以降中止、中止後1講座のみ動画配信	C			C	今後も加盟機関に対し、特色を出した魅力ある講座の開設を依頼する。
	教育のあり方に関する協議	加盟教育機関と熊本県・熊本市などの自治体とで、熊本県の教育政策とコンソーシアムの事業との整合性や共同の取組みについて協議する。地域に必要な人材像や地域の課題について認識を共有する。		協議の実施回数3回	無し	達成0 未達1	協議会の実施ができなかった。	D	D	企画・運営委員会の協議事項としているが、コンソに設置している各種委員会等と連携するとともに、課題を絞りWG等立ち上げ協議を進める。				
3. 地域社会の教育・文化の向上・発展	ワンストップ窓口業務	留学生の相談受付、ワークショップの開催、国際交流振興事業団主催の留学生と話そうサロンへの在学留学生の講師派遣など、熊本県内における留学生情報や事業活用の拠点として活動する。	国際交流の活性化（課題オ）	ワークショップ開催 件数6件	他機関主催のイベント 共催・後援5件	無し	達成0 未達1	4月に就職セミナーを2回計画したがコロナ禍のため中止。他機関主催のイベントへの共催・後援等を5件実施	D	D	達成3 未達5	C	本テーマに関する6件の事業において8つの活動指標が設けられていたが、達成項目が3件、未達成項目が5件となり、達成率が高いとは言えない。ほとんどの事業について計画通りには実施することができなかったが、コロナ禍により実施方法を変更して実施にこぎつけたものもあり、一定の成果を上げていると思われる。本事業における取組を楽しみにしている学生もおり、特に留学生に対しては極めて有意義な事業であることは間違いないと思われるが、対面や集合してのイベントの開催がむずかかったこともあり、本テーマにおける評価はCとした。	留学生の相談受付、ワークショップの開催、国際交流振興事業団主催の留学生と話そうサロンへの在学留学生の講師派遣など、熊本県内における留学生情報や事業活用の拠点としての活動を継続して行う。関係機関と連携し、県内企業への就職を目指す留学生の後押しをする。
	SNS等を活用した留学生ネットワークの構築	熊本への留学を希望する学生を増やすことを目的に、留学生同士のネットワークを利用し、熊本の大学の魅力を伝える情報発信を行う。在学留学生に対しては、熊本への愛着を深めることを目的とし、生活やイベント情報を効果的に発信し地域への活動への参加を促す。		アクセス数 21,000件 コミュニティ参加者数 500人	アクセス数 17,153件 コミュニティ参加者数 605人	達成1 未達1	アクセス数は活動指標に到達できなかったがコミュニティ参加者数は活動指標を大幅に上回った。	B	B	熊本への留学を希望する学生を増やすことを目的として、留学生同士のネットワークを利用し、熊本の大学の魅力を伝える情報を発信する。在学留学生に対しては、熊本への愛着を深めることを目的とし、熊本の生活やイベント情報を効果的に発信し、地域への活動への参加を促すことを計画している。また、平成27年度から実施している「熊本県内外国人留学生の生活状況アンケート」について、熊本県内全体の留学生への支援のあり方を検討することを目的として、住宅やアルバイトなどの生活状況や、日本での就職に関することについて今年度も継続して調査する。				
	留学生のための“学モン都市クマモト”ツアー	九州地区の日本語学校等で勉強している外国人留学生に対し、熊本の大学を見学してもらい熊本で学ぶことの良さを知ってもらう。事業の周知及び情報収集を目的として、九州内の日本語学校を訪問し、県内大学への留学生の誘致活動を行う。		参加者数70人 日本語学校の訪問数12校	10/18 オンライン開催 参加者数 34人 日本語学校訪問は訪問中止、郵送・メール・電話により案内 県外13校、県内5校	達成1 未達1	オンラインによりツアーを開催した。日本語学校訪問はコロナ禍により中止となったが、郵送・メール、電話等により県外13校、県内5校に誘致活動を行った。	B	B	今年度は「留学生のための“学モン都市クマモト”ツアー」を実施し、県内大学への留学生の誘致活動を行う。また、日本語学校数の多い福岡県で実施される留学生向けの進学相談会へ参加し、県内大学について紹介を行う。				
	多言語による情報発信	HPの英語・中国語・韓国語に翻訳して掲載しているが、加盟機関のHPとリンクさせ、各機関の情報を海外に向けて発信できる体制を構築、継続する。日本語・英語・中国語併記のリーフレットを作成し、各機関の協定校や海外オフィスでの配布を依頼し、福岡地区を中心に九州の日本語学校にも配布する。		リーフレットの配布先45件	57校へ発送	達成1 未達0	福岡地区を中心に57校に発送した。	A	A	福岡県、熊本県を中心とした九州の日本人学校に重点的にリーフレットを配布し、進学相談会等の資料として活用する。				
	環境整備活動	本コンソーシアムと地域との連携や地域への協力をアピールするとともに、江津湖湧水清掃等の環境整備活動を通じて「きれいな熊本にする」ことを目標としている。今年度も江津湖湧水清掃を計画し、地域や加盟機関同士の連携を促進する。		学生・留学生・教職員の参加200人	無し	達成0 未達1	コロナ禍のため活動中止	D	D	感染状況をみながら、感染防止対策を徹底した上で実施する。そのため、密を避ける観点から、大人数で実施してきた「江津湖湧水清掃」は中止する。 具体的な内容については、学生企画委員会の協力を得て、学生の意見を取り入れながら、検討する。この環境整備活動を通して、加盟機関の学生、教職員との交流・親睦を図る。				
地域行事・イベントへの参加事業	加盟機関に在籍する留学生およびその家族、日本人学生・教職員で構成する「大学コンソーシアム連」を結成し、火の国祭り「おてもやん総踊り」に参加する。熊本への留学の楽しさのアピールや、祭りを通じての地域住民との交流を深めることでの国際都市熊本をアピールする。	参加者数80人	無し	達成0 未達1	イベントが中止となり参加できず	D	D	「おてもやん総おどり」を留学生支援事業の一環として参加する。						

大学コンソーシアム熊本中期計画（2019～2023年度） 自己点検評価表（令和2年度分）

目的	事業	事業内容	熊本の高等教育機関の課題	課題解決に向けての達成目標	令和2年度活動指標	実績		活動状況評価		事業計画達成状況	R2年度の達成状況評価	評価理由	今後の対策等（令和3年度事業計画）	全体評価	
						各部会	企画・運営委	各部会	企画・運営委						
4. 教育環境の向上	FD・SD	加盟機関の教職員の資質向上を目的として、現在のところ主にSDを実施している。外部講師による管理職研修、中堅職員研修、中堅職員フォローアップ研修のほか、業務種別ごとに関係する担当者の情報交換の場を作り連携促進も図っている。	地域における高等教育の環境を向上させるための包括的な取組み（課題コ）	熊本の高等教育機関教職員の資質向上に関する取組みの実施 開催件数8件 参加者数150人 男女共同参画に関する取組み 参加者数80人 学生企画イベントへの参加者数 350名	実施件数5件	4件実施 管理職研修 17名 中堅職員研修 21名 フォローアップ研修 中止 交流会（危機管理） 16名 交流会（教務）14名	達成0 未達1	活動指標の実施件数5件に対し、コロナ禍によりフォローアップ研修が中止のため4件の実施となった。	B	B	達成1 未達4	B	目標の達成が1件、未達成が4件ではあるが、事業そのものを中止にしたものはなく、実施件数を削減したり、実施方法をオンラインに変更するなどし、できる限り開催するように努力した。コロナ禍の中において、活動指標に近い実施えお行ったことでB評価とした。	外部講師による「新人研修」、「中堅職員研修」、「中堅職員フォローアップ研修」及び業種別に関係する担当者の情報交換の場を作り、意見交換を通じて交流を深め、連携を図ることを目的に交流会（2回）を開催する。	
	医療福祉地域連携事業	障がいのある学生への教育サポートの充実を図るため、また、実務担当者が定期的に情報交換や勉強会を実施し連携を強めていくことで、担当者間の一層の連携強化を図る。講習会や講演会など実施し加盟機関の実務担当者のスキルアップを図る。			実施件数3件	2件実施 協議会・勉強会（吃音） 7/27(16) 勉強会（LGBTs） 9/17(オンライン)	達成0 未達1	当初の計画数どおりの実施はできなかったが、オンラインでLGBTsの勉強会を開催するなど、コロナ禍の中で活動を行った。	B	B					勉強会や講演会などを開催し、加盟機関の実務担当者のスキルアップの向上と親睦を図り、障がいのある学生への教育サポートの充実に繋げていきたい。
	男女共同参画推進連携事業	男女共同参画、ワークライフバランスの啓発等に資する事業を企画・実施する。また、加盟機関の教職員だけでなく学生の参加も考慮した介護と仕事の両立、人権啓発、ダイバーシティの推進に資する事業等にも取り組む。			実施件数2件	1件実施 LGBTsに関する勉強会 9/17 49名	達成0 未達1	当初の2件の実施を計画したが、コロナ禍により1件しか実施できなかった。。	B	B					令和3年度は昨年度に引き続き「LGBTs」をテーマとし、学生の多様性に応じた、進路や就職等の具体的・実践的な支援や配慮について知識を深め、講演会や勉強会を中心に、人権啓発、ダイバーシティの推進に資する事業に取り組む。
	教員免許更新講習	・当該年度の教員免許状更新講習の実施 ・翌年度の教員免許状更新講習の開設準備 ・「教員免許状更新講習管理システム」の共同運用 ・「受講料収納代行（コンビニでの収納）」の共同運用			実施件数200件	実施件数 162件 (更新講習講座開講数)	達成0 未達1	コロナ禍による講習中止に加え、九州豪雨災害により実施できない講習もあり、予定していた講習数を実施できなかった。	B	B					1 令和3年度教員免許状更新講習の実施 2 令和4年度教員免許状更新講習の開設準備 3 「教員免許状更新講習管理システム」の共同運用 4 「受講料収納代行（コンビニでの収納）」の共同運用
	学生交流推進事業	各機関から選ばれた学生で構成する学生企画委員会を設置し、学生自身が様々な企画を立案・実施している。学生の交流の場や新規事業の企画・提案の場としての合宿研修を企画している。			実施件数3件	オンラインサロン5件実施 ①留学生と話そう 10/3 5名 ②SDGsを学ぼう 10/24 19名 ③Let's origami 11/8 15名 ④SDGsと私たち 11/22 16名 ⑤E-games in English 12/6 14名	達成1 未達0	活動指標を超えるイベントを企画し実施できた。	A	A					当面オンラインでの活動を主なものとして、学生企画委員会により内容を検討、企画・実施していくことになると思われるが、コロナ禍の状況により、対面での活動が再開できれば、留学生との交流を重視した企画（平成26年度から実施のWAの心でおもてなし）等）や、学生同士の交流・絆を重視した企画、SDGs等の学生による企画も検討していく。